

全員協議会 会議録（要点筆記）

午後 1時30分 開会
午後 2時15分 閉会
場所 : 全員協議会室

[報告案件]

1. パブリックコメント手続の実施について

山田宰企画部長：資料に基づき説明（パブリックコメント手続概要について）

滝本均市民経済部長：資料に基づき説明（半田市墓地管理計画パブリックコメント結果）

新村隆福祉部長：資料に基づき説明（第2次半田市地域福祉計画、第3期半田市障がい者保健福祉計画、半田市高齢者保健福祉計画、第8期介護保険事業計画のパブリックコメント実施結果）

竹部益世健康子ども部長：資料に基づき説明（第2期半田市障がい児福祉計画、第3次半田市スポーツ推進計画のパブリックコメント実施結果）

大山仁志建設部長：資料に基づき説明（半田市都市計画マスタープラン、半田市立地適正化計画のパブリックコメント実施結果）

岩橋平武教育部長：資料に基づき説明（はんだ学びプラン、第3次半田市生涯学習推進計画、第2次子ども読書活動推進計画のパブリックコメント実施結果）

村瀬浩之水道部長：資料に基づき説明（半田市新水道ビジョン・経営戦略のパブリックコメント実施結果）

中川健一議員：都市計画マスタープランについて、提出されたご意見の中で「臭気を定期的に測るとともに、消臭剤の活用が必要」に対し、「消臭剤の活用も含め臭気対策を促進していく」と回答していますが、（計画内の）どこに記載がされていますか。

大山仁志建設部長：臭気対策等はマスタープランで位置づけるものではないため、このように書かせていただいています。

中川健一議員：半田市の臭気については、市が市街化区域を（畜産）農家のすぐ隣まで拡大したことが原因にあると考えています。都市計画に問題があったと思いますが、その点については（計画内で）触れていないのですか。

大山仁志建設部長：市街化区域の拡大が問題であったとは認識していません。

中川健一議員：建設産業委員会でも議論していますが、土井山町、山代町、北二ツ坂、南二ツ坂の辺りは以前よりかなり改善はされているとは言え、週に数回、強い臭いを感じる日があります。そういった点で現在の住宅地に問題があると言う指摘はマスタープランに記載されていないのですか。

大山仁志建設部長：環状線沿いの北二ツ坂等については、現在、快適な住環境や賑わい等も創出されており、そういった点はマスタープランで誘導されていたことですが、臭気についてはマスタープランに記載することはしていません。

中川健一議員：市民の意見で、住宅地域について問題提起をしていたのだと思いますが、それに対し、適切に対応できているのか疑問を感じます。

もう1点、同じく都市計画マスタープランに対し提出された意見の8で「マネジメントの視点から今後の進め方について記述がない」と指摘されていますが。マネジメントの視点については、さまざまな捉え方があるとは思いますが、私は、経営的に経費と利益のバランスを取ってまちづくりを進めるべき、と仰られているのだと斟酌し理解しています。造るだけ造って、放置。まさに、中心市街地がその例であり、280億円もの費用をかけつくって、ほったらかしている。それと同じことを指摘しているのではないかと思います、それを踏まえて整理しますと、意見の7も8も「集い、歩きたくなる空間を整備する」「賑わいを創出」など、「つくる」ばかりで、費用対効果を考えてまちづくりを進める経営の観点がこの計画にはないと指摘されていると思いますが、それについてどう考えていますか。

大山仁志建設部長：7番目のご意見への回答の中でも「つくる」だけではなく、マネジメントの観点での整備を位置づけていることをお答えさせていただいています。

中川健一議員：部長の説明で理解しかねる点があるのですが、今、建設産業委員会では「人道橋」について議論しています。「人道橋」を例に申し上げるならば、1億1千万円をかけて橋をつくりませんが、その効果を明確に説明されていません。マネジメントで費用対効果が明確になっていると部長が言われますが、一方で同時進行している人道橋の費用対効果について説明がされない状況です。それを承知のうえで部長が言われているのか疑問に感じます。マネジメントの視点というのは、費用対効果を明確にして事業を実施することだと思います。それが現実できていない状況がある中で、できないことを承知で言っているのか、できると言っているのか、どちらですか。

大山仁志建設部長：できると思って記述しています。「人道橋」についても、あの地域は半田の歴史と文化を象徴する場所であり、さらに賑わい、活性化をしていくべきところだと考えていますので「橋」を活用し、より多くの人にその魅力を知っていただく効果があると考えています。人道橋についても整備を進めていきたいと考えています。

中川健一議員：同じく8番の意見への回答で、「本計画では、市民と行政が対等の立場で自主的・主体的に取り組む」とありますが、市民と行政は対等ではないと思います。市民は主権者であり、納税者であり、主役です。そして、それを支える黒子としての役割が行政だと思いますが、ここで言う「対等」の意味は何ですか。

大山仁志部長：同等の立場で一緒に進めていく、という意味です。

中川健一議員：税金で給料をもらっている市職員とボランティアの市民が対等という理解でよろしいですか。

榊原純夫市長：立場ではなく、同じ「考え方」・「価値観」を持ってやっていくということです。「立場」というご指摘は視点が違っていると考えます。

加藤美幸議員：今回、多くの計画でパブリックコメント手続を実施し、市民生活に影響する計画があったにも関わらず、寄せられた意見が少ないと思いますか。どのように考えていますか。

榑原純夫市長：いわゆる、サイレントマジョリティと言いますか、この内容で「よし」という方が多かったと言う結果だと考えています。

加藤美幸議員：寄せられた意見の中には計画の変更など影響のあるものもありました。より多くの方に計画を理解、ご意見をいただくために例えば基地の計画であれば基地に計画の概要やパブリックコメントの実施に係る掲示をするなどの努力が必要だと思いますがいかがですか。

滝本均市民経済部長：今回多数の計画にかかるパブリックコメント手続を実施した中で基地管理計画についてのご質問とのことですので、他の計画と同様に閲覧の場所を設けるとともに、市報等で周知を図っています。この計画は初めての制度ではなく、周知も図れていると考えていますので、お示しのとおり実施をしています。

加藤美幸議員：それぞれの計画内にSDGsのアイコンが貼ってある計画と貼っていない計画がありますが、その判断は部署で異なっているのですか。

山田宰企画部長：計画本編においては、全ての計画にアイコンを付けています。

水野尚美議員：意見の提出方法で郵便、FAX、メールとありますが、全体的にどの提出方法が多いと捉えていますか。

山田宰企画部長：傾向として、メールが多いと認識しています。

水野尚美議員：パブリックコメントは非常に重要であると考えています。半田市の各計画に非常に熱心に関心をお持ちの市民の方が、計画に目を通し、意見を送っていただいていると思っています。件数に関しては、先ほど市長が仰られたとおり、「この計画がとても良い」ということで意見が少ないという見方もあるのだと思います。

いただいたご意見への提出者に回答を返信しているか、教えてください。

山田宰企画部長：提出者に個々に回答をしているか、というお尋ねでしょうか。

水野尚美議員：そのとおりです。

山田宰企画部長：個々への回答はしていません。パブリックコメントの結果の公表として、行っています。

水野尚美議員：（返信をすることで）業務に支障が生じるほどの件数でもないと思います。また、先ほど意見の提出方法でメールが多いとも回答していただいていますのでメールをお返しする形で良いと思います。意見を出していただいた方への感謝の気持ちを示すことで、今後、半田市の計画に多くの市民が興味を持っていただくことに繋がり、返信があれば、他に計画にも関心を持っていただき、多くの意見提出に繋がると思います。個々に返信をしていただくことはできませんか。

山田宰企画部長：検討し、実現可能であれば考慮します。

2 半田市国民健康保険第2期データヘルス計画（改訂版）について

新村隆福祉部長：資料に基づき説明

中川健一議員：令和2年度はコロナの影響で健診に行く人が減るなどのことがあったと思いますが、この計画についてコロナの影響で変更した点はありますか。

新村隆福祉部長：令和2年度の実績値において健診数が減っている事実がありま

すが、見直しにおいて改定に影響したことはありません。

3 新型コロナワクチン接種事業の進捗状況について

竹部益世健康子ども部長：資料に基づき説明

鈴木健一議員：65歳以上は35,000人いて、足りないので（対象を）75歳以上にするとのことですが、75歳以上は何人ですか。

竹部益世健康子ども部長：約15,000人です。

鈴木健一議員：実際に15,000人へのワクチンの接種の見通しは出きているのか。

竹部益世健康子ども部長：5月以降のワクチン（の配分）については、まだ連絡がありません。国は6月中には65歳以上の高齢者全員が接種できる分の量を確保すると言っています。

鈴木健一議員：今回、配分されるワクチンの量が少ないため、アイプラザ半田での集団接種に限るとのことですが、会場までの交通手段がない高齢者への対応はどのように考えていますか。

竹部益世健康子ども部長：当初配分される（ワクチンの）数が少ないということで、個別接種については5月以降、供給量が増えた段階で実施したいと考えていますので、その段階では（ご自宅の）お近くの、かかりつけ医で接種ができると考えています。当初の段階では、限られたワクチンを有効に使うために集団接種を選ばせていただきました。（ご自分で車の運転等が困難な方などは）ご家族に会場まで送っていただくなど、75才以上15,000人の中でも来られる方は限定的になるかもしれませんが、供給量に見合った接種を進める上では集団接種が適していると判断しました。

鈴木健一議員：今回は、個別接種は実施しない。交通手段のない方は諦めるしかないという理解でよろしいですか。

竹部益世健康子ども部長：今回はアイプラザ半田での集団接種を予定しています。個別接種が必要な方は、5月以降に接種をしていただきたいと思います。

中川健一議員：ワクチンはどこのメーカーのワクチンですか。

竹部益世健康子ども部長：ファイザー社製です。

中川健一議員：今、アストラゼネカ社のワクチンの問題が報道されていますが、今後アストラゼネカ社のワクチンが供給されることもあり得ますか。

竹部益世健康子ども部長；国からは、高齢者分はファイザー社製が供給されると聞いています。

伊藤正興議員：（ワクチン接種にかかる）広報についてお聞きします。先ほど、市報とその他の方法で（広報を行う）とのことでしたが、市報は何月何日号で発表されるのか、また、その他の方法を具体的に教えてください。

竹部益世健康子ども部長：市報は4月1日号です。その他の方法では、4月に新聞折り込みを予定しています。また、医療機関等へのポスター掲示や、高齢者が集う場所への掲示も考えています。

伊藤正興議員：ホームページやLINEなどのSNSでの告知はしないのですか。

竹部益世健康子ども部長：（答弁が）漏れていました。ホームページや市公式LINEでの広報も行っていきます。

伊藤正興議員：ホームページやLINEはいつ発信しますか。市報の4月1日号の原稿は（現時点で）既に出来上がっていると思います。であるならば、この全員協議会終了後、即、発信が可能であると思いますが、速やかに発信する考えですか。

竹部益世健康子ども部長：本日、報道機関に提供する内容であるため、整い次第速やかに発信します。

午後 2時15分 閉会